



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	187	△10.6	△258	—	△254	—	△247	—
2022年12月期第2四半期	210	4.2	△132	—	△118	—	△110	—

（注）包括利益 2023年12月期第2四半期 △255百万円（－％） 2022年12月期第2四半期 △119百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△7.89	—
2022年12月期第2四半期	△3.76	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,820	1,820	64.2
2022年12月期	2,956	1,873	62.8

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 1,811百万円 2022年12月期 1,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400	△10.7	△1,400	—	△1,410	—	△1,390	—	△44.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	31,955,730株	2022年12月期	30,871,138株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	285株	2022年12月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	31,448,528株	2022年12月期2Q	29,378,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料について）

- ・四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示を予定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（緑内障治療剤「グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%」、緑内障治療剤「グラアルファ<sup>®</sup>配合点眼液」、眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤））については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。

開発パイプラインについては、フックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」が昨年開始された米国第Ⅲ相臨床試験に続き、3月にグローバル第Ⅲ相臨床試験が開始されました。また、神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は3月に再申請を行い、5月にFDAに申請受理されました。さらに、眼科手術補助剤「DW-1002」は5月に中国に承認申請いたしました。なお、「DW-1002」の配合剤は、米国でオーファンドラッグ指定を受けましたので、今後は、FDAと協議を進める予定です。当社においては、緑内障治療剤「H-1337」及び再生医療用細胞製品「DWR-2206」を中心に開発を進めております。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計187百万円（前年同期比10.6%減）を計上し、売上原価に14百万円（前年同期比12.0%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、431百万円（前年同期比31.0%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」及び「DWR-2206」の開発費用の増加等により294百万円（前年同期比47.5%増）、その他販売費及び一般管理費が人員増加に伴う人件費の増加等により136百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

これらにより、営業損失は258百万円（前年同期営業損失132百万円）、経常損失は254百万円（前年同期経常損失118百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は247百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失110百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

## ①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先	
リパスジル塩酸塩水和物	グラナテック <sup>®</sup> 点眼液0.4%	緑内障・高眼圧症	日本、アジア (注)	興和	
リパスジル塩酸塩水和物 ／ブリモニジン酒石酸塩	グラアルファ <sup>®</sup> 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本		
DW-1002	ブリリアントブルー-G	ILM-Blue <sup>®</sup> 、TissueBlue <sup>™</sup>	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
	ブリリアントブルー-G／トリパンプルー	MembraneBlue-Dual <sup>®</sup>	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等	

(注) アジア一部地域において上市されております。

## ②開発パイプライン

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リパスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等 興和
DW-1002	ブリリアントブルー-G	内境界膜染色	申請	中国 DORC
		第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	水晶体前嚢染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	
	ブリリアントブルー-G／トリパンプルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国 DORC
DW-1001	眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
H-1337	緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206	水疱性角膜炎	非臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発
未熟児網膜症治療薬（注）	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発

（注）JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占的实施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

### ③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、共同研究として、ユビエンス株式会社との標的タンパク質分解誘導薬プロジェクト、SyntheticGestaltとの炎症系・中枢系疾患を対象にしたキナーゼ阻害剤のAI創薬プロジェクト、ラクオリア創薬株式会社との眼疾患治療薬創製プロジェクト等、複数のプロジェクトを進めております。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末から135百万円減少し、2,820百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から118百万円減少し、2,540百万円となりました。主な要因は、貯蔵品が61百万円増加した一方で、現金及び預金が99百万円、売掛金が67百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から17百万円減少し、279百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が20百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から83百万円減少し、999百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から4百万円減少し、207百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末から79百万円減少し、792百万円となりました。この要因は、長期借入金が31百万円増加した一方で、転換社債型新株予約権付社債が110百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から52百万円減少し、1,820百万円となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使等により資本金及び資本剰余金が各々101百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が247百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は64.2%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、2,235百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は142百万円（前年同期は130百万円の支出）となりました。これは主に売上債権の減少額67百万円及び未払金の増加額60百万円があった一方で、税金等調整前四半期純損失254百万円があったこと等によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3百万円（前年同期は4百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3百万円があったこと等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は46百万円（前年同期は76百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出60百万円があった一方で、新株予約権の行使による株式の発行による収入75百万円及び長期借入れによる収入31百万円があったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,334,668	2,235,105
売掛金	170,755	102,911
貯蔵品	79,211	140,920
その他	74,436	61,928
流動資産合計	2,659,072	2,540,866
固定資産		
有形固定資産	10,105	11,236
無形固定資産		
契約関連無形資産	123,428	102,857
その他	1,101	763
無形固定資産合計	124,529	103,620
投資その他の資産	162,668	164,813
固定資産合計	297,303	279,670
資産合計	2,956,376	2,820,536
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	60,000
未払金	64,210	124,444
未払法人税等	11,234	10,236
その他	15,762	12,457
流動負債合計	211,207	207,138
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	734,693	624,489
長期借入金	113,000	144,000
その他	24,000	24,000
固定負債合計	871,693	792,489
負債合計	1,082,900	999,628
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,244	815,663
資本剰余金	2,772,484	2,873,902
利益剰余金	△1,629,961	△1,877,945
自己株式	—	△0
株主資本合計	1,856,767	1,811,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△222	△31
その他の包括利益累計額合計	△222	△31
新株予約権	943	736
非支配株主持分	15,987	8,583
純資産合計	1,873,475	1,820,908
負債純資産合計	2,956,376	2,820,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	210,034	187,710
売上原価	13,126	14,696
売上総利益	196,908	173,014
販売費及び一般管理費		
研究開発費	199,768	294,752
その他	129,507	136,614
販売費及び一般管理費合計	329,275	431,366
営業損失(△)	△132,367	△258,352
営業外収益		
受取利息	13	6
為替差益	32,820	6,275
その他	1,008	11
営業外収益合計	33,841	6,292
営業外費用		
支払利息	1,710	1,225
株式交付費	—	1,007
支払手数料	13,250	255
新株発行費	4,634	—
その他	—	42
営業外費用合計	19,595	2,530
経常損失(△)	△118,120	△254,590
税金等調整前四半期純損失(△)	△118,120	△254,590
法人税、住民税及び事業税	797	797
法人税等合計	797	797
四半期純損失(△)	△118,918	△255,387
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,436	△7,403
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110,481	△247,983

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△118,918	△255,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△454	△31
その他の包括利益合計	△454	△31
四半期包括利益	△119,372	△255,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,936	△248,015
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,436	△7,403

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△118,120	△254,590
減価償却費	22,743	23,206
株式報酬費用	7,190	7,093
受取利息	△13	△6
支払利息	1,710	1,225
支払手数料	13,250	255
為替差損益 (△は益)	△28,109	△1,266
株式交付費	—	1,007
新株発行費	4,634	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,005	67,843
棚卸資産の増減額 (△は増加)	19,519	△30,463
未払金の増減額 (△は減少)	△13,246	60,234
その他	△33,819	△14,562
小計	△127,267	△140,022
利息の受取額	13	6
利息の支払額	△1,572	△1,073
法人税等の支払額	△1,594	△1,592
営業活動によるキャッシュ・フロー	△130,420	△142,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,877	△3,428
無形固定資産の取得による支出	△200	—
差入保証金の増減額 (△は増加)	—	△316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,077	△3,744
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	31,000
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	75,879
自己新株予約権の取得による支出	△2,692	—
自己株式の取得による支出	—	△0
支払手数料の支払額	△13,200	△272
その他	△499	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,391	46,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,462	256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△184,428	△99,563
現金及び現金同等物の期首残高	1,933,743	2,334,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,749,315	2,235,105

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使及び第11回新株予約権の行使等がありました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ101,418千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が815,663千円、資本準備金が2,873,902千円となっております。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。